



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東
 コード番号 3137 URL <https://www.fundely.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 阿部 公祐
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 杉田 雅治 (TEL) 03(6741)5880
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,556	0.2	438	△19.3	437	△19.7	277	△19.8
2019年3月期第3四半期	2,552	1.6	544	8.4	544	8.4	346	9.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	43.38	42.98
2019年3月期第3四半期	54.32	53.63

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,896	3,026	38.1
2019年3月期	4,279	2,734	63.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,011百万円 2019年3月期 2,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,802	41.5	934	31.0	783	12.0	501	13.5	78.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	6,445,800株	2019年3月期	6,384,000株
2020年3月期3Q	—株	2019年3月期	—株
2020年3月期3Q	6,407,003株	2019年3月期3Q	6,382,183株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが見られたものの、堅調な企業収益を背景とした雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米中両国の貿易摩擦による世界経済への影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、また、人手不足の深刻化による人件費や物流費の上昇、消費増税の個人消費への影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社におきましてはMFD事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進め、新規・定期購入顧客数の拡大に努めました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売、また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託についても、新規クライアントの開拓や既存クライアントから複数の案件を獲得しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,556,763千円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は438,930千円（同19.3%減）、経常利益は437,379千円（同19.7%減）、四半期純利益は277,954千円（同19.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① MFD事業

当セグメントにおきましては、従来より実施している季節ごとの商品入れ替えのみならず、糖尿病、高血圧など食事療法を必要とされる方に向けた新商品を積極的に開発、また、全国の医療機関等へ当社及びサービスの認知度の向上に向けた取り組みによる紹介ネットワークの拡大と深耕を通して新規顧客の獲得に努めました。さらに、当社の管理栄養士・栄養士がお客様の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行を中心として販売に注力しました。

加えて、当第3四半期会計期間におきましては、食事制限のある方にも安心してお召し上がりいただけるよう趣向を凝らした、当社の管理栄養士・栄養士による食事相談サポート付き『私のおせち』の販売が順調に推移しました。その結果、MFD事業における売上高は2,309,677千円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益（営業利益）は512,037千円（同8.1%減）となりました。

② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売、また、紹介ネットワークを活用した業務受託において複数の案件を獲得しました。その結果、売上高は247,085千円（前年同四半期比21.5%減）、セグメント利益（営業利益）は170,638千円（同26.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より3,617,525千円増加し、7,896,995千円となりました。これは主に、売掛金の減少4,960千円、商品の減少99,413千円があった一方、現金及び預金の増加212,187千円、未収消費税の増加132,909千円、新工場の建設及び生産設備の取得による建設仮勘定の増加3,367,873千円によるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末における負債は前事業年度末より3,324,985千円増加し、4,870,078千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少121,320千円があった一方、短期借入金の増加2,450,000千円、未払金の増加989,087千円によるものであります。短期借入金及び未払金の増加は、主に新工場の建設及び生産設備の取得費用によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より292,540千円増加し、3,026,917千円となりました。これは、資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ4,140千円、利益剰余金の増加277,954千円、新株予約権の増加6,304千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては2019年4月26日付「2019年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,950,093	2,162,281
売掛金	248,512	243,552
商品	282,497	183,083
仕掛品	3,342	975
貯蔵品	299	203
その他	98,429	243,909
貸倒引当金	△74	△71
流動資産合計	2,583,100	2,833,933
固定資産		
有形固定資産		
土地	516,725	516,725
建設仮勘定	1,100,216	4,468,090
その他	10,581	11,026
有形固定資産合計	1,627,523	4,995,842
無形固定資産	4,796	3,398
投資その他の資産	64,048	63,820
固定資産合計	1,696,368	5,063,061
資産合計	4,279,469	7,896,995
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,199	114,518
短期借入金	1,150,000	3,600,000
未払金	73,183	1,062,270
未払法人税等	154,195	32,874
賞与引当金	23,833	12,653
その他	33,223	42,297
流動負債合計	1,539,634	4,864,614
固定負債		
資産除去債務	5,458	5,463
固定負債合計	5,458	5,463
負債合計	1,545,092	4,870,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	274,939	279,080
資本剰余金	224,939	229,080
利益剰余金	2,225,154	2,503,109
株主資本合計	2,725,033	3,011,269
新株予約権	9,343	15,647
純資産合計	2,734,376	3,026,917
負債純資産合計	4,279,469	7,896,995

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,552,099	2,556,763
売上原価	1,010,308	1,015,380
売上総利益	1,541,791	1,541,382
販売費及び一般管理費	997,627	1,102,452
営業利益	544,163	438,930
営業外収益		
受取手数料	501	603
その他	368	843
営業外収益合計	869	1,446
営業外費用		
支払利息	—	2,989
雑損失	400	8
営業外費用合計	400	2,997
経常利益	544,633	437,379
税引前四半期純利益	544,633	437,379
法人税等	197,974	159,424
四半期純利益	346,659	277,954

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,237,482	314,617	2,552,099	2,552,099	—	2,552,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,237,482	314,617	2,552,099	2,552,099	—	2,552,099
セグメント利益	557,207	232,164	789,372	789,372	△245,208	544,163

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△245,208千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,309,677	247,085	2,556,763	2,556,763	—	2,556,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,309,677	247,085	2,556,763	2,556,763	—	2,556,763
セグメント利益	512,037	170,638	682,675	682,675	△243,745	438,930

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△243,745千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。